

環境と金融に関する専門委員会の設置について（案）

1. 設置の趣旨

我が国は、地球温暖化を始めとする様々な環境問題に直面しているとともに、サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融危機の影響も受け、依然として厳しい経済状況にある。

こうした問題を克服し、将来にわたって環境と経済がともに向上・発展する社会を実現するためには、1, 400兆円を超える我が国の個人金融資産を有効に活用する視点も含め、環境ビジネス等の環境保全に資する事業活動に対し、国内外からの資金が流れやすくするような仕組みを整備することが必要である。

このため、環境に配慮した金融（環境金融）の現状とその促進策についての調査検討を行う専門委員会を置く。

2. メンバー構成案

委員については、部会長の指名により、学識経験者や専門家の方々をもって構成する予定である。

3. スケジュール

平成 21 年 9 月以降、専門委員会を開催し、環境金融の現状と課題、及びその促進策について調査、審議いただく。

環境と金融に関してそれぞれの主体に期待される役割

個人投資家・預金者

- 自らの資金の使われ方に関心を持つ
 - ・資金運用が自分の価値観を反映させる手段となることを認識する。
 - ・社会的課題を考慮した金融商品や金融機関を選ぶ。

機関投資家

- 受託者責任の考え方を見直す
 - ・ESG（環境、社会、ガバナンス）に取り組むことが企業の競争力強化につながるという考え方を理解・普及させる。
- 収益性の適正な評価を実施する
 - ・長期的な視点に立ったSRIの運用に対する評価を実施する。

金融機関

- 魅力ある多様な商品づくりに取り組む
 - ・潜在的なニーズを掘り起こし、資金運用を図りながら社会のためにも良いことをしたいという「志」を充足する。（自然保護ファンド、ご当地ファンド、信託機能の活用、環境預金など）
- 金融商品の売り手の資質を向上させる
 - ・社会的責任投資を扱う販売担当者への教育を実施する。
- 企業に対する評価の透明性を確保する
 - ・企業評価の原則の自主的な策定・公表を検討する。
- 融資方針に環境や社会への配慮を盛り込む
 - ・預金者が銀行を選好する際の重要な判断要素である融資方針に環境や社会への配慮を盛り込む。
- 社会的課題に配慮した金融の規模を拡大させる

企業・事業者

- 投資判断に資する情報開示を推進する
 - ・環境報告書やCSR報告書のみならず、有価証券報告書などにおける非財務情報の自主的な開示を推進する。
- 運用主体としての取組を推進する
 - ・財務戦略にSRIの視点を組み入れる。自らの企業年金の一部をSRIで運用する。
- CSRの取組を深化させる
 - ・投融资対象の裾野の拡大により、CSRと環境金融の好循環を実現する。

お金の流れ

行政

- 国民一人ひとりへの普及啓発を推進する

- 開示すべき情報を整理・提示する
 - ・非財務情報のうち投資家等に有用な情報を整理・提示する。
 - ・有価証券報告書等における非財務情報の開示を促進する。
 - ・投資家に資する企業のCSR情報をデータベース化する。
 - ・企業評価の透明性向上に関する自主的なガイドライン策定を関係者に働きかける。

- 環境等に配慮したお金の流れを加速していくための支援を行う
 - ・金融的手法を核として環境保全を進める取組をモデル事業として選び支援する。

- ひとつの経済主体としての取組を推進する

- ・公的な資金、例えば公的年金等の一部を環境など社会的課題に配慮して運用することも検討していく。

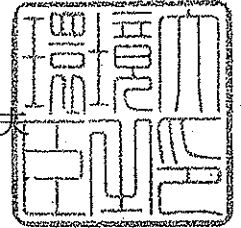
- 社会的責任投資等の実態を把握する

- 政府一体となった取組を推進する

諮問第262号
環政計発第090713002号
平成21年7月13日

中央環境審議会会長
鈴木基之殿

環境大臣
藤 鉄 未



環境と金融の在り方について（諮問）

環境基本法（平成5年法律第91号）第41条第2項第2号の規定に基づき、次のとおり諮問する。

「我が国において目指すべき環境と金融の在り方について、貴審議会の意見を求める。」

（諮問理由）

我が国は、地球温暖化を始めとする様々な環境問題に直面しているとともに、サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融危機の影響も受け、依然として厳しい経済状況にある。

こうした問題を克服し、将来にわたって環境と経済がともに向上・発展する社会を実現するためには、1,400兆円を超える我が国の個人金融資産を有効に活用する視点も含め、環境ビジネス等の環境保全に資する事業活動に対し、国内外からの資金が流れやすくするための基準や仕組みを整備することが必要である。

このため、我が国において目指すべき環境と金融の在り方について、貴審議会の意見を求める。